
音だけを頼りに。

柊音々

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

音だけを頼りに。

【Nコード】

N3527F

【作者名】

柊音々

【あらすじ】

絶望の世界に立ち尽くす神奈。ある日、由里という少年に会い神奈を変えていくのだがー・・・！？

(前書き)

途中の

からしたは神奈視点

少女、ある日恋をした。
少女、初めて愛を感じた。

コツコツコツ・・・
血だらけの町を歩く。
ただ、ただ、前だけを見て。

ここは絶望の世界
そこに一人の少女がいた
彼女の名前は神奈^{かみな}

彼女は人が命を落とすのなんて気にしない。
もう、何回もあることだから
この世界では人が死ぬなんて当たり前。
愛なんてものはとつくのとうになくなってしまった。

だから、歩くしかない。
死ぬか生きるか、選択肢はそれだけ。

「愛は、どこにいったのだろうか・・・？前の笑顔は消えてしまったのだろうか・・・？」

「音だけを頼りに。」

「うわー・・・、すごい汚い町だなあ・・・。」

僕の名前は由里。（ゆり）

この町に引越してきた。なんか雑誌に載ってたものと違うけど、まっ、いいか。

前にとってもかわいい少女が歩いてきた。

すごい・・・、金髪だ・・・外国人かな？

「っ！お前、なぜ此処にいるッ！」

そう思った瞬間その少女が僕に襲い掛かってきた。

「・・・え？」

頭の中で混乱してきた。

何故此処にいる？

！・・・引越してきたから。

「ひ、引越してきたからだよ・・・？君は誰・・・？」

少女はとても驚いた目をして重い口を開いた。

「お前は、この世界にはいちや駄目だ。この世界に楽しいなんてものはない。」

お前が望んでるほどの幸福だつてない。人が死んだりしてるだけ。

私はこれ以上人が死ぬのを見たくないんだ。だから……」

「だ、だから……？」

僕は彼女に聞いた。

「出て行け……、お前は命を無くしたくないだろう？」

僕は彼女の言葉を聞いて、なぜか笑ってしまった。

「大丈夫、君が生きてるのなら僕の命なんか惜しくないさ。」
少しかっこつけすぎちゃったかな。

そう思いながら、笑った。

この、この男は何を言っているんだ……、

私が生きてるならいい？

命なんか惜しくない……？

愛なんて感情はなくなったはずなのに。

何で、何でこんなにもうれしいのだろう。

「お前の名前は・・・？ちなみに私は神奈だ。」

「僕は由里だよ。よろしく。」

由里か・・・、いい名だ。

数年後、どこかのお偉いさんがこの町に訪れた。

この町はなくなるらしい。

由里はとてまかつこよくなつた・・・

今じゃ、私が由里に頼つてばかりだな。

そう思つた瞬間、銃声が聞こえた。

今何がアツタンダー・・・？

私は銃声が聞こえたほうに大きく振り返つた。
そこにいたのは政府のお偉いさんだった。

「き・・・さまつ、由里に、何故ッ！」

怒りを隠しきれなかった。

その後、事実を知つた。

由里の父は悪人だった。

人を何人も殺していた。それだから、息子も危険だと。

人を殺す確立があるということに殺された

そんなくだらないことで

命が消えた

愛が消えた

希望が消えたー・・・

「ああ！！うああ・・・ッ」

心の中の奥底の木が枯れるくらい大声で泣いた。

あのころはもう幻覚なのー・・・？

幻覚でもいいからあなたに会いたい。

そう思った。

自分の存在しか残らない世界なのだと。

それならば、あなたに託そう。

ただ、この命だけを

それでまた、幸せな世界が取り戻せるのならばー・・・

もしも、生まれ変われるならば何になりたいですかー・・・？

あなたを癒す鳥になりたい。

あなたを見つめる星になりたい。

あなただけに歌う歌姫になりたい。

ただ、あなたと一緒にいれる存在になりたい。

精一杯の歌を

あなたに

精一杯の私を
世界に

「音だけを頼りに。」

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n3527f/>

音だけを頼りに。

2011年1月27日01時23分発行